

Road Hazard Monitoring System

狙い

ビッグデータを活用して安全・安心な社会を作ることを目指し、個人の権益を守りながら、より付加価値の高いデータ利活用を促進する。

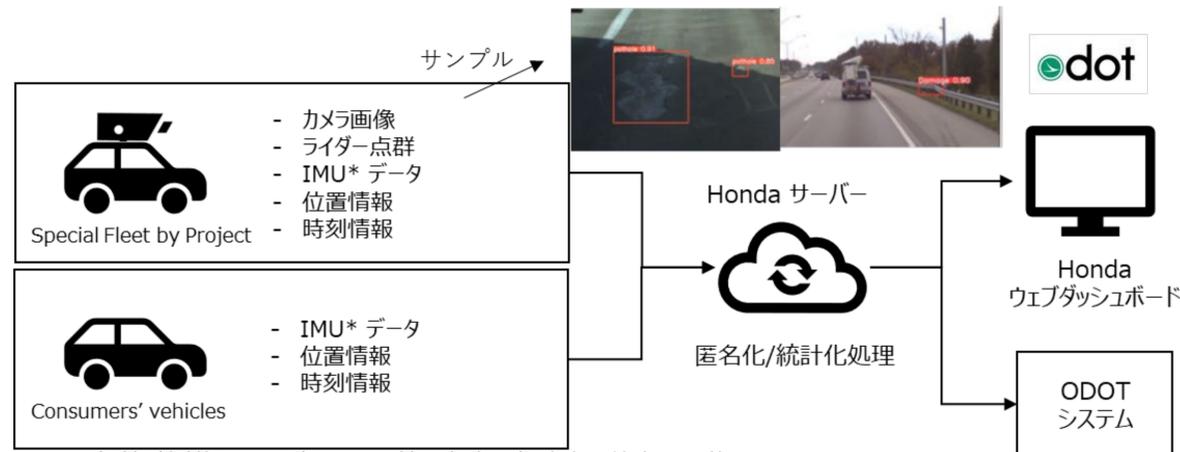
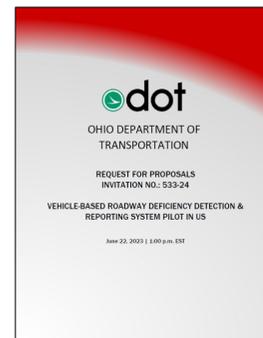
技術の特徴

道路維持管理業務において、道路路面だけでなく、標識やガードレールなどの道路インフラ含めて車両データを用いて効率的な管理をする。

実証実験

Hondaはオハイオ州と有償実証実験を進めています。

“VEHICLE-BASED ROADWAY DEFICIENCY DETECTION & REPORTING SYSTEM PILOT IN US”.



*IMU: 慣性計測装置。運動を司る3軸の角度と加速度を検出する装置

状態管理対象



目指す未来

”Hondaの車が走る。あなたの街が幸せになる。”
ドライバーをコミュニティビルダーに変えることで、より安全で快適な道路の実現に貢献する。

Hondaへの価値:
ブランド価値向上



ドライバーへの価値
地域社会の一員として
貢献する誇りと幸せ



コネクテッドデータ
プラットフォーム



街への価値
安全で快適な道路

